

今後の取り組み

数ある診療領域の中から、まずは「政策医療分野」として位置づけられる、小児科/新生児科・産科・救急科を優先し、**4つの事項**に取り組みます。

- 1 各地域のニーズ、病院の機能、医師のキャリア形成の傾向を明確化するための精緻なデータの収集と分析および可視化する
- 2 保健医療計画と大学医局による医師派遣の整合を目指した意見交換の場を通じ、問題点を抽出する
- 3 働き方改革や情報通信技術(ICT)の進展を見据え、医療提供の効率化と新たな提供の在り方を検討する
- 4 今後の医療提供について、医療を受ける側である地域住民に周知する方策と合意形成モデルを検討する

研究成果は、次世代の医療を支える「人材確保戦略」などの形に集約し、当センターのホームページなどで積極的に発信してまいります。

千葉県の保健医療計画では、下図のように二次保健医療圏が設定されています。

二次保健医療圏は医療法第30条の4第2項第12号の規定に基づく区域で、特殊な医療を除く病院の病床の整備を図るべき地域単位として設定するもので、医療機関相互の医療分担に基づく連携による包括的な保健医療サービスを提供していくための圏域です。



次世代医療構想センター
Center for Next Generation of Community Health

持続可能な医療
質の高い医療を目指して

Contact

お問合せ先

千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター

〒260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-15 千葉大学亥鼻キャンパス内 亥鼻イノベーションプラザ310号室

[直通]043-226-2762 (内線6480)

[メールアドレス]byoin-jisedai@chiba-u.jp

▼詳細はこちら

公式サイト <https://www.ho.chiba-u.ac.jp/NextGeneration/>

Facebook <https://www.facebook.com/NEXTGENERATION19/>

Twitter https://twitter.com/n_generation19

公式サイト



Facebook



Twitter



病院寄附金制度を活用した当センターへのご寄付のご案内

あなたの想いを次世代の医療に役立てます

今、目の前にいる患者さんに全力で行う「臨床」。5年、10年先に繋がる医療を生み出す「研究」。そして生み出された新しい技術を駆使できる医療人を育てる「教育」。これらは、当院がこの先もずっと果たしていくべき大事な使命です。

千葉大学医学部附属病院では、この使命を果たし続けていくために皆さまから、広く寄附金を受入れる制度を設けております。

皆さまのご期待に沿えるように職員一同、より一層の努力をしておりますので、ご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

寄附金には税法上の優遇措置などがあります。寄附方法の詳細などについては、千葉大学医学部附属病院「病院寄附金制度のご案内」をご覧ください。

▼病院寄附金制度のご案内サイト

[URL] <https://www.ho.chiba-u.ac.jp/approach/kifu.html>

※当センターへご寄附いただける場合には、寄附目的の欄に「次世代医療構想センター」を明記してください。



千葉大学医学部附属病院

次世代医療構想センター

Center for Next Generation of
Community Health

のご案内

次世代医療構想センターとは

Center for Next Generation of Community Health

次世代医療構想センターでは、2025年以降の地域医療ニーズを見据え、

大学病院 地域の医療機関 千葉県 の3者が中心となって、持続可能で質の高い医療の

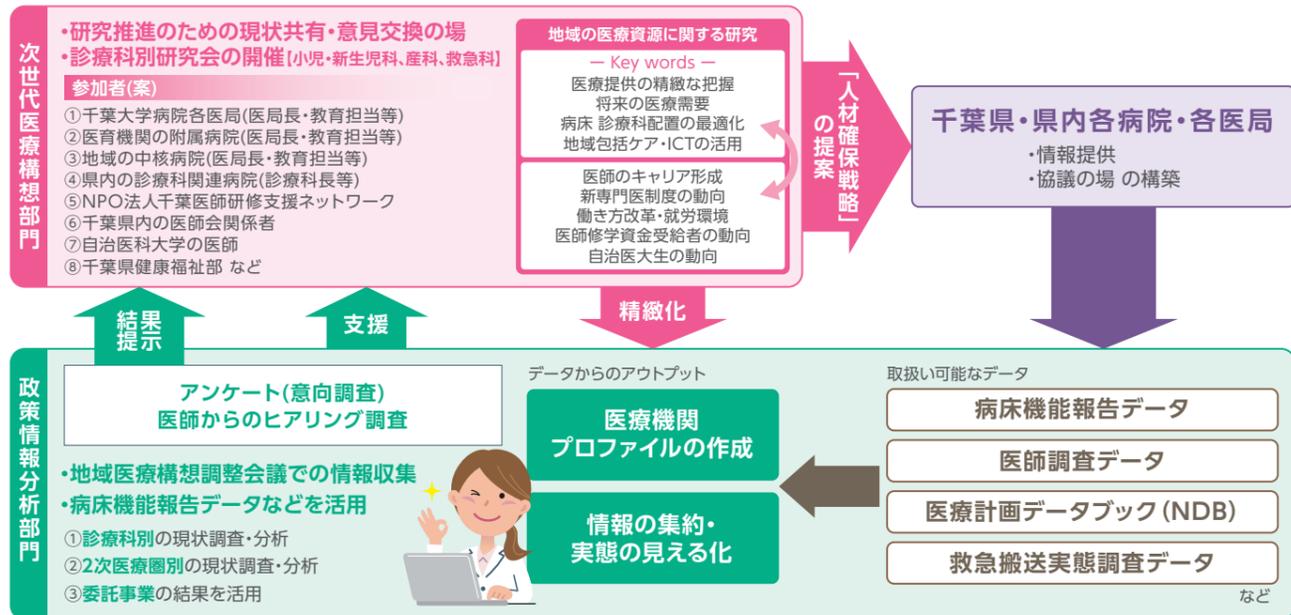
実現に向けて以下のミッションの実現のために研究活動を行い、

安定した地域の医療提供体制の確立を目指します。

- 1 地域医療構想の実現** **2 医師偏在の解消** **3 医師の働き方の改革**

次世代医療構想センター 研究計画の全体像

働き方改革・地域医療構想・新型コロナウイルス感染症対策を総合的に勘案した千葉県の政策医療研究



次世代医療構想センターは、**次世代医療構想部門**と**政策情報分析部門**で構成されます。

次世代医療構想部門では、県内の医療に関連する組織や団体に対し現状の情報共有・意見交換の場の提供、政策医療分野である小児科・産科・救急科を中心とした診療科別研究会の開催、地域の医療資源に関する研究を行います。

政策情報分析部門では、主に県内医療機関のレセプトデータ、病床機能報告データに加え、診療現場からのヒアリングによる生の声を活用した情報収集を行い、診療科別、2次医療圏別の精緻な現状調査・分析を行います。

Withコロナ社会における、新たな医療提供体制に向けて

2020年の新型コロナウイルス感染症の影響により、わたしたちの社会は急速に、そして劇的に変わっている真っ只中입니다。住民の健康を守り、本当に必要な人々に必要な医療を届けるために本格的に取り組みなければならない重大な局面を迎えています。

2024年に医師の働き方改革法が施行され、医師の時間外労働の上限規制が法律として定められることから、新生児科や産科医療の24時間体制の医療提供の維持がますます難しくなることが予想されています。しかしながら、医師や看護職員の人材育成は一朝一夕では解決しないため、限られた医療資源を千葉県内でも上手に活用する医療提供体制を作っていく必要があると考えています。

これまでの実績

2019年度千葉医療政策公開セミナーの開催

次世代医療構想センターと千葉県医師会が主催、千葉県が後援で、開催しました。千葉県等の自治体の職員や現場の臨床医、学生などを対象に、医療政策全般についての全6回の連続した研修を実施しました。

地域医療構想を進める上で、行政機関、医療機関など関係機関での議論が必要で、医療政策に精通した人材の育成が急務です。このような人材を育成するために関係機関での基礎知識を共有し、熱心に議論できる土台を作りました。



開催日	テーマ	参加者
第1回 11/26 (火)	医療政策の全体像：国と県の役割とホッパ	申込み数 35名 実際の参加人数 34名
第2回 12/10 (火)	健康保険法、診療報酬と病院経営・データの活用	申込み数 39名 実際の参加人数 42名
第3回 12/17 (火)	医療法・地域医療構想について	申込み数 42名 実際の参加人数 44名
第4回 1/14 (火)	医師確保と大学の役割	申込み数 38名 実際の参加人数 33名
第5回 1/22 (水)	産科・新生児科医療の課題と対策	申込み数 34名 実際の参加人数 24名
第6回 1/28 (火)	小児科・救急科医療の課題と対策	申込み数 40名 実際の参加人数 30名

2020年度医療ビッグデータを活用した研究セミナーの開催

当センターでは、データに基づいた医療政策の立案を推進しています。2020年8月28日、9月25日に主に千葉大学の研究者を対象とし、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

医療ビッグデータは、多くの方に高い関心を持たれていますが、レセプト情報等データベース(NDB)研究には、敷居が高いと認識されがちです。NDB研究を正しく理解してもらうことでNDB研究の質を高めることにつなげることを目指して、開催し、約1,200名の参加を得ました。

開催日	テーマ	講師	会場参加	web参加	計
第1回 (8/28)	オープニング 医療データ分析を「武器」とせよ	吉村健佑	30名	667名	697名
第2回 (9/25)	NDBの今とこれから 研究紹介と留意点 次世代医療構想センターによる支援	梅澤耕学 奥村泰之 佐藤大介	7名	478名	485名
第2回 (9/25)	オープニング NDBにどこまで深入りするか	吉村健佑			
	NDB関連の法改正からガイドライン改正のすく	梅澤耕学			
	NDBを活用した臨床研究が活用できるかをめぐって	奥村泰之			
	次世代医療構想センターによる支援	佐藤大介			

産婦人科、小児科、救急科のパンフレット作成支援

医師偏在対策の一環として、千葉大学病院 周産期母性科、小児科、救急科と連携し、診療科を紹介するパンフレットの作成支援を行っています。

様々な関係機関との連携

千葉県医師会やNPO法人千葉医師研修支援ネットワークなどのイベントや情報発信について連携をしています。

千葉県内の医師からのヒアリング調査

千葉県内の産科・小児科・救急科の3診療科に所属する医師などを対象とした医療現場の実態調査を行っています。令和2年10月7日時点で72名に対して調査を実施しています。

千葉大学医学部附属病院	公立長生病院
独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	医療法人SHIODA 塩田病院
千葉県こども病院	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉市立海浜病院	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉県がんセンター	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
船橋市立医療センター	帝京大学ちば総合医療センター
東京女子医科大学附属 八千代医療センター	医療法人社団健育会 さとう小児科医院
松戸市立総合医療センター	医療法人社団扇葉の会 外房こどもクリニック
成田赤十字病院	医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック 龍山
国際医療福祉大学成田病院	医療法人社団マザー・キー ファミリー産院きみつ
地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院	有秋台医院
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター	

業績

【論文】

- 黒崎宏貴, 吉村健佑. レセプト情報・特定健診情報データベース(NDB)を活用した糖尿病治療等からみた医療費の都道府県別地域差分析. 日本公衆衛生雑誌 67(8) 501 - 508 2020年8月
- Fukuda H, Sato D, et al. A Real World Comparison of 1 Expenditures for Transcatheter Aortic Valve Replacements: SAPIEN 3 versus versus Evolut R. Value in Health. 2020年
- Fukuda H, Sato D, et al. Healthcare resources attributable to methicillin-resistant Staphylococcus aureus orthopedic surgical site infections. Scientific Reports. 2020年9月
- Fukuda H, Sato D, et al. Differences in healthcare expenditure estimates according to statistical approach: A nationwide claims database study on patients with hepatocellular carcinoma. PLOS ONE 15(8) e0237316 - e0237316. 2020年8月
- Yoshida K, et al. (合計8人中4人目 Sato D). Remote neuropsychological assessment of elderly Japanese population using the Alzheimer's Disease Assessment Scale: A validation study. Journal of Telemedicine and Telecare 26(7-8) 482 - 487. 2020年8月
- Fukuda H, Sato D, et al. Comparing Retirements and Expenditures in Flow Diversion Versus Coiling for Unruptured Intracranial Aneurysm Treatment: A Retrospective Cohort Study Using a Real-World National Database. Neurosurgery 87(1) 63 - 70. 2020年7月
- Iboshi K, et al. (合計8人中5番目 Sato D). A Validation Study of the Remotely Administered Montreal Cognitive Assessment Tool in the Elderly Japanese Population. Telemedicine and e-Health 26(7) 920 - 928. 2020年7月
- Kunikata H, Yoshinaga N, Yoshimura K, Furushima D. Clinical and cost-effectiveness of nurse-led cognitive behavioral group therapy for recovery of self-esteem among individuals with mental disorders: A single-group pre-post study. Japan Journal of Nursing Science e12371. 2020年8月
- Hayashi Y, et al. (合計9人中5番目 Yoshimura K). How was cognitive behavioural therapy for mood disorder implemented in Japan? A retrospective observational study using the nationwide claims database from FY2010 to FY2015. BMJ Open. 10 e033365 2020年5月
- Fukuda H, et al. (合計7人中3番目 Sato D). Healthcare Expenditures for the Treatment of Patients Infected with Hepatitis C Virus in Japan. Pharmacoeconomics 38(3) 297 - 306. 2020年3月

【総説】

- 成瀬浩史, 佐藤大介, 吉村健佑: オンライン診療を取り巻く政策動向. IoMT学会誌 3(1) 4 - 9 2020年9月
- 宮地秀明, 吉村健佑: NDB オープンデータを用いた common skin disease 研究の展望. 皮膚科診療. 42(4):274-282, 2020年3月
- 佐藤大介: 英国における保健医療経済評価の取り組み. 公衆衛生 Vol84.2 p92-96 2020年2月
- 成瀬浩史, 吉村健佑: オンラインと遠隔機器を活用した医療・保健活動の政策動向. 保健の科学. 62(1):15-22. 2020年1月

【メディア関連】

- MANAGEMENT SQUARE. 次世代を担う人たちが困ることのない医療提供体制をつくっていきます. 2020年11月1日
- 朝日新聞(1面). 高齢者高リスク薬多用 睡眠・抗不安 80代ピーク. 2019年12月8日
- m3.com. 「千葉の問題は日本の問題」、成功事例目指す - 吉村健佑・千葉次世代医療構想センター長に聞く◆ Vol.3. 2019年10月4日
- m3.com. 450人への「ヒアリングマラソン」実施 - 吉村健佑・千葉次世代医療構想センター長に聞く◆ Vol.2. 2019年9月27日
- m3.com. 県のシンクタンクの機能を果たすのが狙い - 吉村健佑・千葉次世代医療構想センター長に聞く◆ Vol.1. 2019年9月17日
- FNN PRIME online. 千葉大学病院 寄附研究部門「次世代医療構想センター」を8月1日に設置. 2019年7月30日
- 時事メディカル. 千葉大学病院 寄附研究部門「次世代医療構想センター」を8月1日に設置. 2019年7月30日
- MEDIFAX Web. 千葉大病院「次世代医療構想センター」開設へ 県が寄付講座. 2019年6月4日

各種媒体をもちいた情報発信

当センターでは、ホームページ、Facebook、Twitterを用いて、日々の活動などについて情報発信を行っています。



公式サイト



Facebook



Twitter

2019年度報告書

2019年度の取組はこちらでご確認いただけます

